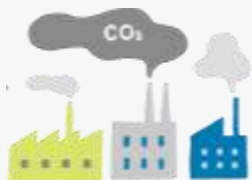


Chapter 06

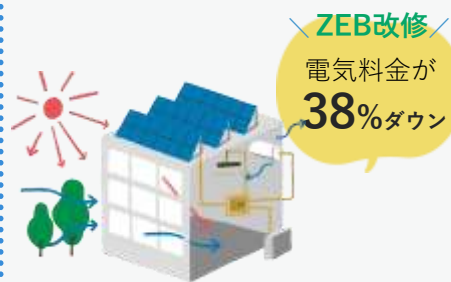
私たちができる環境行動ガイド

アンケートやワークショップで集まった意見をもとに、環境配慮の視点を取り入れた、事業者が取り組める行動をまとめました。日々の業務の中で、できることから始めてみませんか？

温室効果ガス排出量を算定し
削減目標を立てよう



2030年カーボンハーフや
2050年ゼロカーボンを目指そう



建物の省エネ化を促進しよう

再生可能エネルギーを
導入しよう、
省エネ機器を導入しよう



高効率空調を導入すると
エネルギーを削減可能



長く使用できる商品や
環境にやさしい商品・サービス
を開発・提供・利用しよう

製品の製造過程で
廃棄物を減らし
分別・リサイクルを徹底しよう



コンポストを使って
生ごみを減らそう



ペーパーレス化に取り組もう

神戸産の木材を
家具や内装材に取り入れよう



敷地内の緑化や
ビオトープづくりを推進しよう

事業活動における環境保全の
取り組みを発信しよう



神戸産の農水産物を
積極的に購入・消費・利用しよう



開発時に環境影響評価に
適切に取り組もう

清掃活動や環境教育に
積極的に参画しよう



取引先と連携して
環境配慮に取り組もう

社内で環境教育を実施しよう



※ は効果の目安（年間）

【出典】「脱炭素につながる新しい豊かな暮らしの10年後」「二酸化炭素の総量削減を目的とした効率的脱炭素化推進事業」の関連資料（環境省）、改修ZEB事例集（経済産業省）